

## 恩賜記念館重要物品



### 大風子油 (S12~S23)

明治12年、堺の岡村平兵衛によって精製される。  
ハンセン病特効薬プロミン登場までの治療薬



### プロミン

ハンセン病の特効薬。昭和18年、アメリカにおいて  
ハンセン病に対しての有効性が確認される。  
昭和21年、東京大学石館守三教授により国内で  
初めて合成される



### 多剤併用薬(三種併用) (S56~)

現在のハンセン病治療薬、WHOにより提唱される  
わずか数日に服用で菌は感染力を喪失する為  
感染源対策としても有効  
(リファンピシン、ダプソン、B663)



### 愛生焼貯金箱 (S10頃)

愛生園でとれた土で焼かれた十坪住宅の貯金箱。  
無らい県運動のさなか、寄付金を集めるのに  
使用された

## 恩賜記念館重要物品



### 十坪住宅パンフレット（S7年頃）

愛生園では開園当時、無らい県運動により定員をはるかに超えた患者を集めた。それを、建物の観点から可能にしたのが、「十坪住宅」であり、その建築資金を民間の寄付に頼るといのが「十坪住宅運動」であった



### 園内通用票（S6～S23.3）

主に逃亡防止の為に園内だけで使用されたブリキの貨幣



### 長島紙幣（～S23年）

戦時中はブリキも入手困難になった為、このようなガリ版印刷の紙幣が使用された

## 恩賜記念館重要物品



### 保管金通帳 (S5～S38)

入園すると、現金の使用は認められなかったため、現金は保管金通帳の中に入れられた

S38年長島簡易郵便局開局と同時に廃止



### 金板 (S6～S30前半)

薬の請求板、クレゾールで消毒をする為、紙は使えずこのようなブリキの板に書いていた



### 支給品の皿

ホーロー製の皿。ガラスや焼き物だと職員に反抗するという理由で割れない皿を使わせていた



### 包帯巻き機 (S6～S62)

包帯巻き部使用。何度も繰り返し包帯を使う為にこのような物を使っていた

恩賜記念館重要物品



手用のリヒカー

傷口に布団があたらないように使用された



愛生座 小道具 (S6.11~S40.5)

愛生園で入園者が行っていた歌舞伎一座の  
小道具。手作り

第60回公演が最後の公演となった



愛生座 小道具 (S6.11~S40.5)

愛生園で入園者が行っていた歌舞伎一座の  
小道具。手作り

第60回公演が最後の公演となった



柄付カンナ

木工部使用。手が不自由な為に柄を付けて握れるようにした物

## 恩賜記念館重要物品



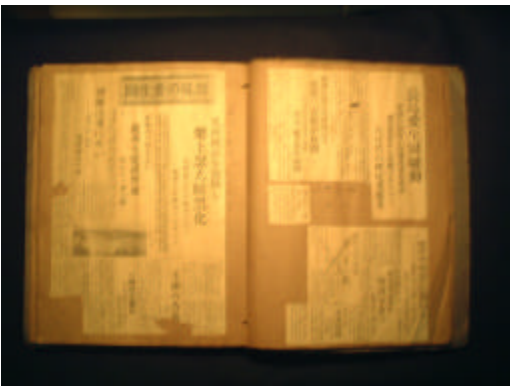
トンネル下駄（S6～S47）

足に傷がある人がその傷口にあたらないようにと工夫して作られた下駄



ハーモニカ組立器（S29～）

盲人のハーモニカバンド、青い鳥楽団が使用したハーモニカの組立器。目が見えない為に、キーが違うハーモニカを組み立てて、回しながら演奏した



長島事件スクラップブック

昭和11年の長島事件の事を書いた新聞記事を集めたスクラップブック



恵の鐘

昭和58年、老朽化に伴い交換になった鐘。実物。表には貞明皇后のお歌が刻まれている

## 恩賜記念館重要物品



### 顕微鏡

愛生園初代園長光田健輔が実際使用した顕微鏡



### 光田健輔使用の机と椅子

愛生園初代園長光田健輔が実際使用した机、椅子、灰皿、時計。奥の写真は文化勲章受賞の時のもの



### 神谷美恵子寄贈のコントラバス

元愛生園の精神科医だった神谷美恵子が父親、前田多門の香典で購入し、青い鳥楽団と、エスポアール楽団に寄贈したコントラバス

恩賜記念館重要物品



森繁久弥寄贈のバスドラム (S52)  
盲人の青い鳥楽団に森繁久弥が寄贈した  
バスドラム



鍵のかかった櫓 (S6~S20代)  
園が管理していた手漕ぎ船の櫓には逃走防止  
の為施錠されていた



高島重孝の勲一等の額  
愛生園2代目園長高島重孝の勲一等受賞の額



光明皇后癩者施療の額  
奈良、施薬院での伝説を描いた図

## 恩賜記念館重要物品



邑久高等学校新良田教室の校歌の額

昭和30年全国で唯一のハンセン病者の為の  
高校が愛生園に開校した。  
その高校の生徒により作詞、作曲された校歌の額



昭和26年当時の愛生園の地図

昭和26年当時の愛生園の地図。各舎の  
名前が書いてある



木挽き鋸（～S22）

製材所が出来るまで、患者作業により十坪住宅  
の建設に必要な材木の縦引きに使用された



舎長用机

各舎の舎長が使っていた入園者手作りの机。  
表面が黒いのは鍋の底に付いた墨で色を付けて  
いるからである



## 恩賜記念館重要物品



長島愛生園全景模型（昭和30年当時）

入園者による手作りで当時に忠実に再現されていて、今では見ることの難くなった十坪住宅や、少年舎の様子を見る事ができる。

赤いラインは患者地帯と職員地帯を区切っていたライン



盲動鈴

目の不自由な人の為に各曲がり角に立っていました。風が吹くと鈴が鳴る仕組み



風力計（S10～S54）

患者作業により運営されていた長島気象観測所使用の風力計



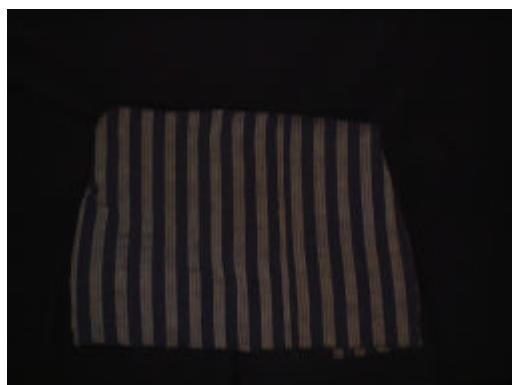
卓上仏壇

入園者による手作りの仏壇。居住空間が狭かったため小さな仏壇を使用した

## 恩賜記念館重要物品



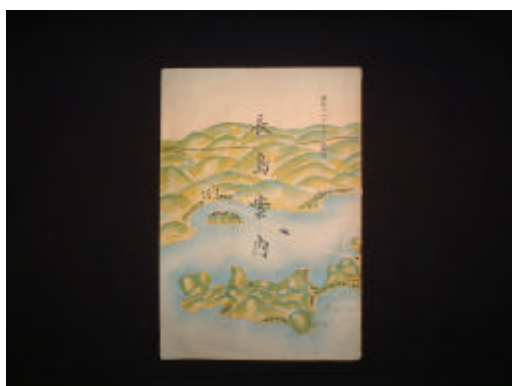
入園者使用の着物（女性用）  
入園すると女性は矢絣の着物を手渡された



入園者使用の着物（男性用）  
入園すると男性は縞の着物を手渡された



西郷まくら  
浮浪患者が使用した携帯用まくら

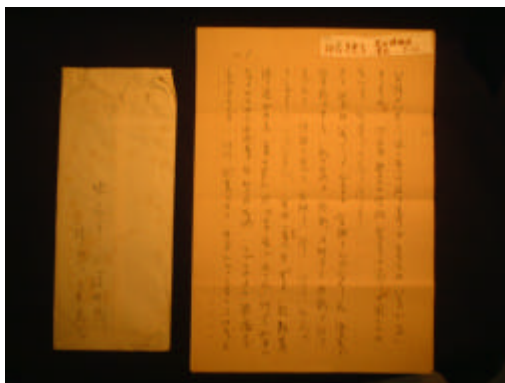


長島案内パンフレット（S10頃）  
愛生園入園をハンセン病患者に呼びかける  
パンフレット

恩賜記念館重要物品



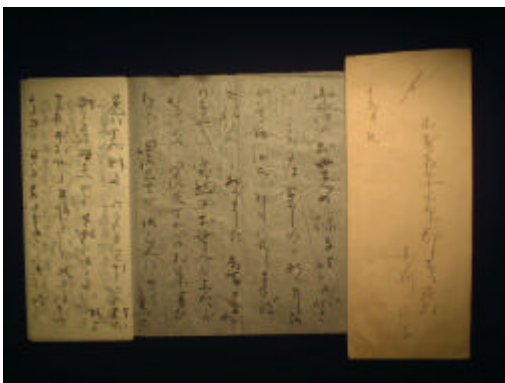
明石海人の白描初版本と遺品のペンとロザリオ  
愛生園の入園者で、戦前ベストセラーを記録した  
明石海人の白描初版本と遺品のペンとロザリオ



神谷美恵子直筆の手紙  
元愛生園精神科医、神谷美恵子が光田健輔に  
あてた直筆の手紙



「小島の春」の写真帳 (S15)  
ハンセン病患者の収容をテーマにした戦前の  
ベストセラー、小川正子著「小島の春」の映画の  
一部を写真に起こした写真帳



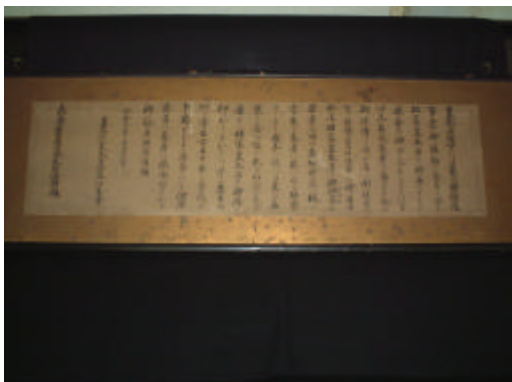
小川正子直筆の手紙  
元愛生園医官、小川正子が入園者にあてた手紙

## 恩賜記念館重要物品



### 小笠原登と光田健輔の論争記事

反隔離派の小笠原登と隔離派の光田健輔の  
論争記事



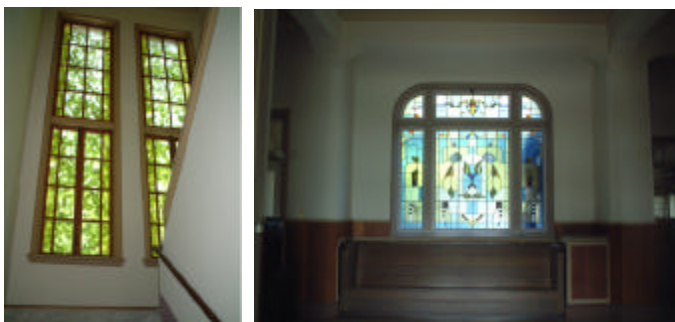
### 入江為守から光田健輔あての書簡の額

皇太后宮大夫子爵、入江為守が、楓の木150本  
を寄贈する旨を記した書簡



### 旧事務本館

昭和5年建築、平成8年まで園の  
運営に関する業務を行っていた。  
今後は内部を改装し資料館として  
後世に長島の歴史、ハンセン病の  
歴史を語り継いでいきたい。



### 旧事務本館内部の様子

内務省管轄で立てられた旧本館内部  
は現在でも美しい姿を残している。